

自分たちにできるエコ活動

高崎市立西部小学校

1 取組の概要

西部小学校では、子どもたちの身近な環境に対する関心を高め、「自分たちにできることを考えて実践できる児童の育成」をめざして取り組んできた。環境福祉委員会の児童を中心に、栽培活動・環境美化や、節電・節水のポスターを作成して呼びかけるなど、全校で環境活動に取り組んできた。夏休みには親子で除草作業をするなど、子どもたちだけでなく、家庭や地域の環境に対する意識も高い。今年度も引き続き、コロナの影響で本格実施できなかったペットボトルキャップの回収も、区長さんのご協力がありたくさんのキャップが集まった。

2 令和5年度の活動内容

【栽培活動・環境美化】

○花壇の整備と除草作業

環境福祉委員会の児童を中心に、花の種を植えたり、地域の方からいただいたパンジーの苗を植えたりした。1つひとつの苗を心を込めて植え大切に育ててきた。植物を育てることを通して、周りの人に対する思いやりや優しい気持ちも育てている。

また、「美しい環境は、豊かで美しい心を育てる」という考えから、夏休みに親子で校庭の除草作業を行った。



【パンジーの花植え】



【親子で除草作業】

○地域の特色を生かした学習

3年生では毎年、総合的な学習で、地域の特産品である桃の栽培を、地域の方々の指導のもとに行っている。桃の世話を通して、植物の育ち方、命のつなぎ方、そして桃づくりに取り組む地域の方々の思いを学ぶことができた。



【剣崎桃について】



【桃の袋かけ】



【収穫された桃】

【省エネ・リサイクル活動】

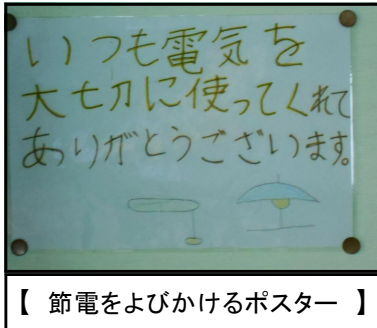
節電・節水、省エネのため、下記の通り学校全体で取り組んできた。

- 使わない電気はこまめに消す
- エアコンの設定温度を 26 ～ 28 ℃にする。
- 節水をよびかける。
- 紙など、リサイクルできるものはリサイクルする。



○ 節電・節水、省エネ

環境福祉委員会の児童中心に、学校全体で節電・節水に努めてきた。



【 節電をよびかけるポスター 】



【 節電－職員室－ 】



【 節水をよびかけるポスター 】

○ ペットボトルの回収

今年度も、感染症の影響もあり、児童玄関で行っていたペットボトルの回収（エコキャップの回収）は職員室だけで行った。職員が集めたキャップのみならず、区長さんからの協力もあり合計 17.7kg（4袋）のキャップを回収することができた。



【 集められたペットボトルキャップ 】

3 取組の見直し及び今後の活動

環境方針や活動の手引きをもとに、環境福祉委員会を中心に全校で様々な活動を行うことができた。エコ活動を実践することで、今後も日常生活の様々な場面や地域の方々との関わりの中で、児童が環境について考える場を設け、環境についての意識がより高められるように取り組んでいきたい。また校内だけではなく、環境への関心や取組が地域に広がっていくよう活動していきたい。